

臨川小だより

10月号

令和5年9月29日(金)
渋谷区立臨川小学校

ふれあい運動会を通して

副校長 安田明子

9月23日秋分の日、4年ぶりに全校児童が一堂に参加した、ふれあい運動会が開催されました。応援団は声を限りに応援し、かけっこはゴールを目指し全力で走り抜き、団体競技は練習の成果を発揮して、頑張る子供たちの姿に胸が熱くなりました。

今年は紅白2組の勝負となり、結果は611点对607点の僅差で白組の勝利となりました。運動会では、かけっこであれ団体競技であれ、順位がつき、勝ち負けがあります。競い合う楽しさとともに、勝って嬉しい、負けて悔しいという感情を味わったことも、子供たちの成長の糧となり、次への意欲につながることでしょう。

しかし、運動会は、人と競うためだけにやるものではありません。私は運動会で子供たちの表情を見るたびに、この場がお互いの健闘をたたえ合い、感謝を伝え合う場であってほしいと思っています。

目標に向かって力を尽くすこと、練習を通し自分の成長を感じることに、一緒に頑張った友達と喜びや悔しさを分かち合うこと。勝った人は喜びの中でも負けて悔しい人の存在を想像すること、負けた人は自分が悔しくても勝った人を祝福すること。一緒に競技をし、全力を尽くす機会を経験できたこと。それらに気づき、感謝する。運動会を通し、心を鍛え、豊かにすることは、身体の成長・運動能力の伸長とともに、大きな意義があると考えます。

学習指導要領の体育の目標には「心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することを目指す。」とあります。今回の運動会で学んだことは、子供たちの今後のスポーツライフの下支えになっていくことでしょう。

いよいよこの4日には前期の終業式があり、秋休みを経て10日からは後期の始まりです。短い秋休みではありますが、前期の振り返りと後期への準備をしていただければ幸いです。運動会という大きな行事を終え、思い出と自信を胸に抱いた子供たち。読書の秋、スポーツの秋、文化の秋等々、充実した秋を過ごせることを祈っています。

末筆となりましたが、運動会当日は、五十嵐教育長はじめご来賓の皆様、地域・保護者の皆様、お忙しい中ご参観いただき、たくさんの励ましのお言葉をありがとうございました。準備運営をお手伝いいただいた多くのPTAの皆様にも厚く御礼申し上げます。皆様のご支援があったからこそ、子供たちが輝くふれあい運動会を実施することができました。ありがとうございました。

